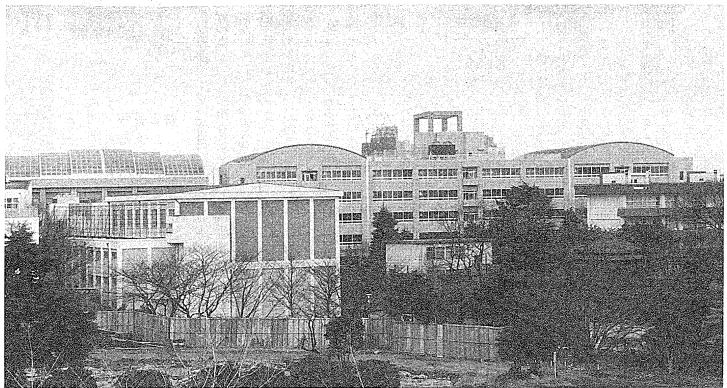


聳え立つ新校舎——第一期工事成る



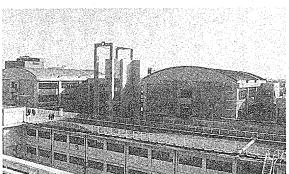
大橋側から望む新校舎の全容—左からプールのスライド式天井、両翼への広がりのラインが美しい駒場棟、右下に仰光寮、右は目黒一中

駒場松桜会会報

第52号
1993年3月1日発行
財団法人駒場松桜会
〒153 東京都目黒区
大橋1-18-1
都立駒場高等学校仰光寮
電話03-3466-7579
振替番号 東京9-28486

堂々たる新校舎の威容が、新しい駒場の力強いイメージを語るかのように、第一期工事として、本館、第二アリーナ、プール棟などが完成した。五階から成る本館は、中央に時計塔がひとときわ高く、南北両面、つまり大橋側からも駒場東大前側からも出入りできる中央玄関を中心として、一階が校長室、事務室、会議室、保健室など、二階以上が教室である。両翼の如き東西の側には図書室、L・しなど特別教室が配置され、広々とした廊下、カーブの階段や明るいビロティ部分に、のびのびとした雰囲気があり、開放的な印象を与えている。教室内の間仕切りにも工夫が凝らされ、新しい技術をふんだんに駆使して、長い将来の使用を見越した検討が活かされている。

左は都立芸術高校ホール、右は目黒一中(体育館)、その上に総ガラス貼り開閉式の屋根を持つ、全天候型プールが完成し、4月からは、本館5階に3年、4階が2年、3階が1年、2階が保体科と新校舎になっている。新校舎の見学会を5月16日(土)の松桜会総会の際に実施するので、是非御覧いただきたいと思ふ。特に当日は詳しい内部の説明もして下さるので、この機会に多く御参加を心



前号と同じアングルでとらえた、旧校舎側からの姿、51号8面に続くプロセスのシリーズ

校舎外壁の色は、松の幹をイメージ

した「ダーク・ベージュ」で、

屋根の緑が松の葉を、そして各棟

一体駒場の杜が、イメージされ

表現されている。そこで、校歌の一

節が活かされている。うそうそある。

各教室が非常に明るく、眺望と

共に採光のすばらしさが、以前に

比し印象に残る。特別教室や図書

室などにも共通しているが、いま

と違い北に張り出した部分の眺

望は、特に新鮮で高層ビル街が手

に取るようである。窓の形状も

オフィスのような洗練された感覚

から待ちしている。

工事は、引き続き4月からの第

二期工事に入り、6月からいよいよ

いよいよ思い出の旧校舎が取り

壊される予定で、平成6(1994年3

月)に第二アリーナ、食堂、生徒ホ

ールが完成、第三期工事は、外構

等が整備され、平成7(1995年3月)

にすべてが竣工することである。

で、高校の校舎であることを忘れてしまいそうである。まだ机等備

品も揃っていない状態を見たので、

共に採光のすばらしさが、以前に

比し印象に残る。特別教室や図書

室などにも共通しているが、いま

と違い北に張り出した部分の眺

望は、特に新鮮で高層ビル街が手

に取るようである。窓の形状も

オフィスのような洗練された感覚

から待ちしている。

工事は、引き続き4月からの第

二期工事に入り、6月からいよいよ

いよいよ思い出の旧校舎が取り

壊される予定で、平成6(1994年3

月)に第二アリーナ、食堂、生徒ホ

ールが完成、第三期工事は、外構

等が整備され、平成7(1995年3月)

にすべてが竣工することである。

で、高校の校舎であることを忘れてしまいそうである。まだ机等備

品も揃っていない状態を見たので、

共に採光のすばらしさが、以前に

比し印象に残る。特別教室や図書

室などにも共通しているが、いま

と違い北に張り出した部分の眺

望は、特に新鮮で高層ビル街が手

'93年度 駒場松桜会総会のお知らせ	
日 時	5月16日(日)
総会	1時30分~1時30分
講演会	2時30分~3時40分
講師(予定)	バルセロナ五輪女子柔道銀メダリスト 田辺陽子(駒
コチロン	36—保氏(2面に闇記事)
校見学会	第2部 4時
会場	新校舎第二アリーナ(体育馆)

*校見学会は、1、2部共コースは同じですので、御都合にあわせお選び下さい。
尚お申込みは事務局へ5月10日(月)までにお願いいたします。
*上記を御用意下さいますよう、お願ひいたします。



独自の事業企画も三回目！

日高 肇氏 (ヴァイオリン)
(駒 5・8)
水本雄三氏 (ピアノ)
(駒 5・8)

プロフィール

水本氏
9年第24回毎日コンクール。昭和32年東京芸大ビッグ卒、翌年専攻科修了。
年スイス・チューリヒ、
・ミュンヘンに留学。
音大、広大、フェリス教授を経て、現在愛知
大教授、フェリス女子

東京芸大2年修了。日本国立音楽院にてリットルに師事、同オーケストラのコンサートマスター。昭和33年、J.シゲテイ率いる各種のグループを経て、国立音大、武蔵野美術大学現在東京芸大教授。

駒場松桜会として、同窓生の音楽家による演奏会のものに開催してきました。今年は、ホケイショナルコース設置第一回目の卒業生である駒場回が、卒業40年となる記念の意味もこめて、音楽科のお二人によるコンサート企画を実現しました。お二人は、在学中から既に共演の機会があり、演奏を御記憶の方の機会があり、思い出されると思います。日高博士が駒場松桜会のために、何回か御協力をいただいており、今回は御多忙の中、久方振りにお二人の顔合せが実現しました。駒高博士の音楽家の頃の暮雲気に入り、青春をオーヴィアーラップさせることとなりました。アーラップともなりました。お二人に、いろいろうかがっておきました。水本氏＝M・日高氏＝H

駒場の頃を、今一度 —日高毅・水本雄三コンサート—

1993年10月23日(土) 4時開場、5時開演
駒場エミナースホール
(京王井ノ頭線駒場東大前西口より徒歩3分)
目(予定): 第1部 モーツアルト／ソナタ
シユーベルト／ソナチネ

～お電話～
第2部 ベートーヴェン／クロイツエル
目変更の可能性はございますので、御了承下さいませ。
「ヴァイオリン…」日高 穎（駒5・8）
「ピアノ…」水本雄三（駒5・8）
金：3,500円（全500席・自由）
込：駒場桜桜会（月曜 10時～4時）
電話 03-3466-7579まで お早目にどうぞ
7時から8時まで、お2人を間も無く駒場エミナース

当時募集を始めた駒場に願書を出

めにより、何が何だかよくわから

いたので、その意味でよかったです。
H 私は父が農工省の役人だった間
係で台湾に生まれ育ちました。父の自身の色々な考え方があつたので、
ようが、戦後父の価値観を変り、
金員に貢金後父の価値観をさせ、
傭と私だけが統合していきました。ヴァイ
オリンの先生が引き揚げてしま
い、楽器はどこかに送られ、やれど居は
わない、楽器は過ぎて、杉原と居るは
定めた頃、父がヴァイオリンを提
げた御婦人から、荻窪の中村先生の
お名前を聞き、再開された話です。やがて高勉強進
学を控え、長谷川先生とお親しく、
長谷川先生とお親しく、

第2部 ベートーヴェン／クロイツベル
曲目変更の可能性はございますので、御了承下さいませ。
ヴァイオリン……日高 翔（駒5・8）
ピアノ……水本雄三（駒5・8）
料金：3,500円（全500席・自由）
申込：駒場松桜会（月曜 10時～4時）
電話 03-3466-7579までお早目にどうぞ
※ 7時から8時まで、お2人を閑む会を駒場エミナース
内スター・ラウンジで行います。（会費 1,000円）

第52号 駒場松桜会報

1993(平成5)年3月1日(6)

長岡純子ピアノリサイタル

和やかに、あたたかく

10月11日(日)、駒場エミナースと、一般的のファンの方からの問い合わせの電話が入ったり、熱心な同生が三時ころからお越し下さる、開演30分前の開場を予定。準備中の係りで済ませました。

長岡●大違いですね。前からその
ようか?

してお聞かせ下さいませんか。
長岡市中で、第三次を卒業せます
そのまま上野（芸大）へ参ります。
したが、樂しい思い出ばかりで
懐い友人達と共に、特に担任
でいらした讃井先生にお目にか
かれますので楽しみに参ります
た。

